

取り付け説明書
VZ-C12/VZ-C32



日本語

この説明書をよくお読みの上、工事の専門技術者が工事を行ってください。

<安全に関するご注意>

以下の注意にしたがって下さい:



WARNING!

製品内部は高電圧のため
感電する恐れがあります



- 本機を開く時は、指をはさまないようにご注意ください。
- 本機を使用する時はステッカーの指示通りに必ず正しい電圧でご使用下さい。
- 本機が極度に高い熱や湿気などにさらされないように気をつけて下さい。
- 本機に過度の衝撃を与えないようにご注意ください。
- 本機の両側面にある通風孔を通して、本体が十分に冷却されるようにして下さい。
- 何らかの異常な症状（雑音、臭い、煙など）がある場合は直ちに電源ケーブルを抜き、ビジュアライザーの取扱店までご連絡下さい。
- 破損した電源ケーブルや電源は、ショートや感電の原因になるので使用しないで下さい。
- 危険を避けるため、ビジュアライザーを改造したり、カバーパネルが所定の位置にしっかり固定されていない状態で操作しないで下さい。
- 本機が水、金属あるいは引火性の物質に触れないようにご注意ください。
- 本機を設置する場合、放射性物質のある環境は避けて下さい。
- また、強い磁気や電流が流れている場所も避けて下さい。磁気や電流はモニター画像の歪みの原因になり、CCDカメラにもダメージを与えます。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源ケーブルを抜いておいて下さい。

内蔵レーザーポインターに関する注意:



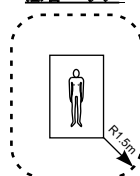
FDA accession
number:
9912688-00

この製品は
21 CFR 1040.10
および 1040.11を
遵守しています

重要な安全装置 / 医療環境における使用上の注意:

医療環境での使用は、文書化または実証を目的した用途のみに限ります。
ビジュアライザーを手術や診断、治療用に使用しないで下さい。
本機に接続する装置はすべて IEC601-1, IEC950, IEC65 に準じるものであること、またはその他の IEC/ISO 規格令が適応であることが必要があります。
本機を他の装置と患者エリアで併用する場合は、絶縁型トランスから電力を供給するか、補足の保護用アース端子を経由して地面に接続して下さい。ただし、そのシステムが IEC601-1 規格に準じている場合を除きます。

患者エリア:



	この製品は EMC 規格令と電子装置規格令に基づいて製造されています この装置はFCC（米国連邦通信委員会）規制15条に基づいて検査され製造されたクラス A デジタル装置です。これらの規制は、この装置が商業環境で使用される場合に有害となる妨害に対して妥当な保護を備えるために考案されたものです。この装置はラジオ周波数を発生・使用・放射するため、取扱説明書に従って正しく取り扱われないとラジオ受信障害を引き起こすことがあります。住宅地区におけるこの装置の使用は周辺に悪影響を及ぼす妨害となり、この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 UL 60950 に準拠した品質検査証明: CSA 22.22-60950
--	--

ヴォルフビジョンのプロフェッショナルビジュアライザーは、オーストリアの WolfVision 社によって開発・設計されたものです。

特許番号(例): US 5027219, FRG 3833908, CH 678576.

2006 年 3 月、日本にて印刷

製品のデザインおよび仕様は変更する場合があります。

表示解説



Attention

この表示の注意事項を守らなかった場合、**重傷を負う可能性**があることを示しています。すべての指示をよくお読みいただき、細心の注意を払って作業を行ってください。また、安全と健康に関する法律・条例にしたがって作業を行うようにして下さい。



Attention
Warning

この表示は、注意して取り扱わないと物的損害が発生する可能性があることを示しています

安全な手順

シーリングビジュアライザーは安全な設計に基づいて最先端技術により製造されていますが、正しい手順が守られない場合は作業上の危険を伴うことがあります。**すべての安全や使用に関する指示は極めて重要ですので、よくお読みの上、必ずしたがってください。**

- すべての説明書は常に手の届く場所に保管して下さい。
- 公認され、設置・修理を許可された人以外は作業しないで下さい。
- 本機を使用する際には、必ず安全な手順で操作して下さい。
- すべての警告事項や操作表示にしたがってください。
- 安全機能を作動させなくしたり取り除いたりしないで下さい。

準備

- 1.) 運送による損傷がないかどうか調べて下さい。何らかの損傷が見つかった場合は、シーリングビジュアライザーを取り付けずに直ちに販売店に連絡して下さい。
- 2.) すべての部品と付属品があるかどうか確認して下さい。



設置を始める前に、必ず取り付け説明書全体に目を通して下さい。

天井の取り付け準備

ヴォルフビジョンの取り付け方には多様な設置方法があるため、一般的な設置説明しか提供することができません。以下の設置手順を注意深く読み、説明書には記載されていないような問題が発生した場合には、お客様のヴォルフビジョン販売担当者にご一報下さい。シーリングビジュアライザーの重量に関して適切な予防措置がとられないと、人が損害を負うだけではなく、シーリングビジュアライザーの機能停止や他の物的損害をまねく可能性がありますので、特に注意して下さい。



以下の指示が守られないと、重大な事故につながる恐れがあります。あらゆる損害を未然に防ぐために、天井の構造がビジュアライザーの5倍の重さに対して耐久性があるかどうか確認して下さい。

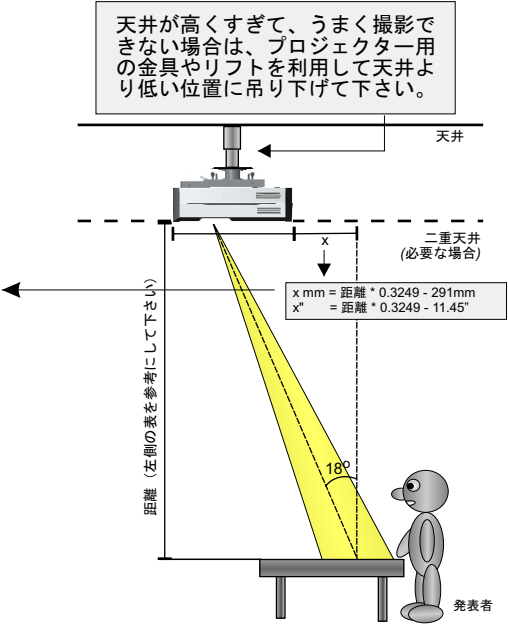
設置位置

シーリングタイプと「卓上」タイプのビジュアルライザーとの違いは、最小撮影範囲と最大撮影範囲の制限がないことです。それらは作業台からビジュアルライザーまでの距離によって変わります。設置の高さと撮影範囲の関係については、取扱説明書の4ページをご覧ください。
ビジュアルライザーと作業台との距離によって撮影範囲が変わりますので、シーリングビジュアルライザーを設置する前にご希望の撮影範囲の大きさを確認して下さい。

画像中央までの距離

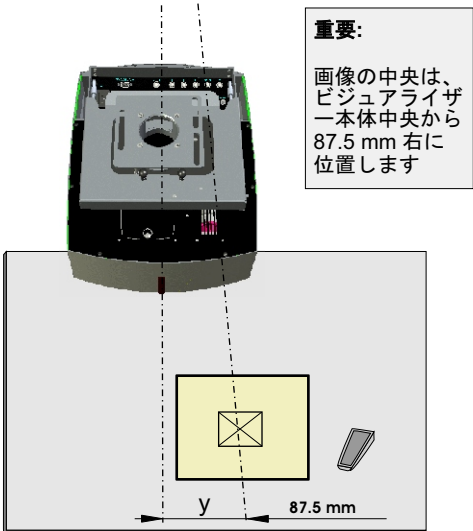
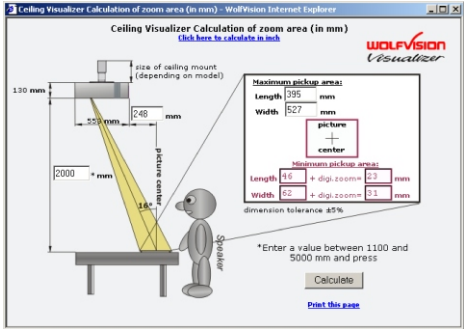
以下の表は、左図の中の"x"の距離を示しています。

ビジュアルライザーから作業台までの距離 (mm)	ビジュアルライザー前面から画像中央までの距離	ビジュアルライザーから作業台までの距離 (inch)	ビジュアルライザー前面から画像中央までの距離
1.000	34	40	1.55
1.200	99	50	4.80
1.400	164	60	8.05
1.600	229	70	11.29
1.800	294	80	14.54
2.000	359	90	17.79
2.200	424	100	21.04
2.400	489	110	24.29
2.600	554	120	27.54
2.800	619	130	30.79
3.000	684	140	34.04
3.200	749	150	37.29
3.400	814	160	40.54
3.600	879	170	43.79
3.800	944	180	47.04
4.000	1009	190	50.28

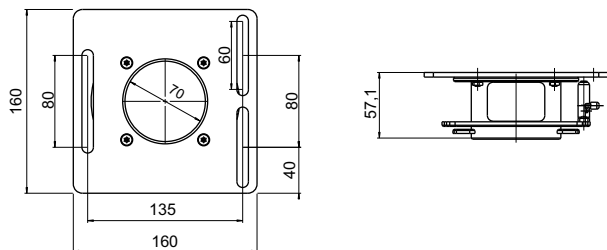


ヴォルフビジョンホームページの計算プログラム

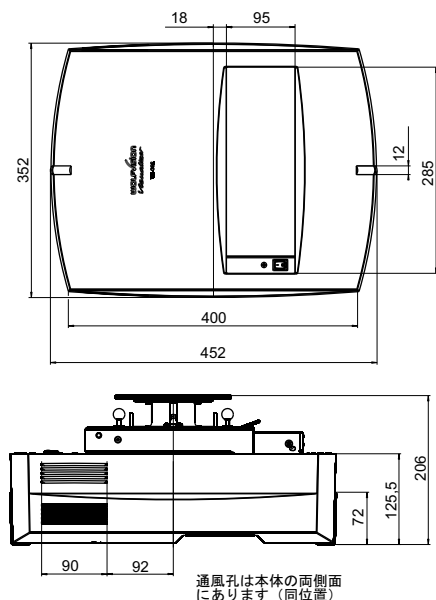
正確な位置と撮影範囲の計算にはヴォルフビジョンのホームページにある専用計算プログラムをお使い下さい。:



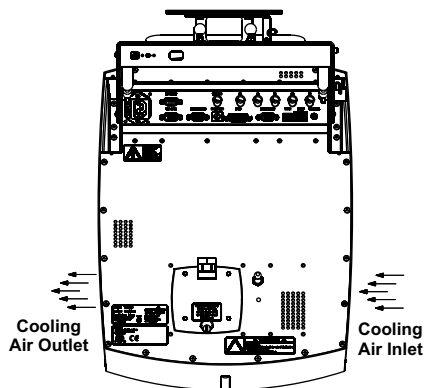
天井取り付け用部品の外形寸法（単位：mm）



シーリングビジュアライザーの外形寸法（単位：mm）



ご注意：必要な通風状態が確保されていないと故障の原因になります



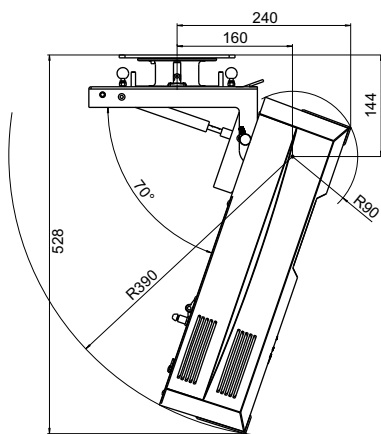
重要：
空気の吸入・排出口をふさがないようにください

二重天井に埋め込む場合の設置：

通常の使い方なら、カメラとライト用の一つの穴を開けるだけで取り付け可能です。サービスが必要になった場合に備えてユニット全体に手が届く状態にして下さい。

2つの赤外線受光部は本体正面にあります。使用する必要がなければ覆って下さい。

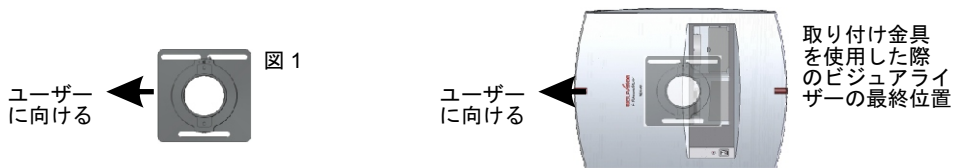
両方の赤外線受光部を覆いたい場合は、シーリングビジュアライザー付属の外部赤外線受信機を“IR-SENSOR”ポートに接続するか、RS-232ポートに直接つなげて下さい。



ヴォルフビジョン専用取り付け金具の設置

ヴォルフビジョン専用の取り付け金具を使ってビジュアライザーを天井に設置すれば、とてもすばやく簡単にできます。

組み立て金具を天井に固定する場合、設置場所の天井構造や状況によって異なりますが、取り付け用のプレートを図1のように天井につなげる必要があります。本体が衝撃から守ることと、固定システムと天井は最低 80 kg の重量に耐えられることをしなければなりません。



重要： 日本国内の学校・会議室等に関する安全規定には特に注意して下さい。

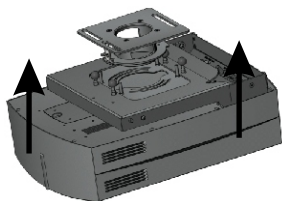


図2

シーリングビジュアライザーを取り付け金具の位置まで持ち上げ(図2)、左か右に本体を 90 度回して天井に固定します(図3)。これで本体は一時的に取り付けられた状態になりますが、まだ設置は終了していません。



図3

次に、ビジュアライザーについているリリースボタンを押して(図4) 本体を下方方向に引きます(図5)。この時、カチッと音がして自動安全ロックが固定されるまで完全に引いてください(図5)。安全ロックが固定されないと本体が折りたたまれ、思わぬ怪我をする場合があります。本体を元の位置にもどすには、ロックを引いて反時計回りに回してください。

図4

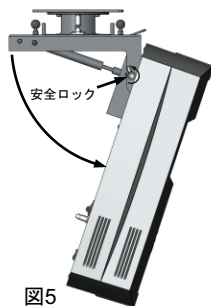
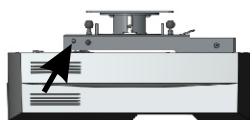


図5



重要： 本体の落下や損害・人身事故を未然に防ぐために、すべての部品の取り付けや接続の固定の安全性を確認して下さい。

安全上の理由により、シーリングビジュアライザー用天井取り付け金具のための固定装備を提供することはできません。製品を設置する場所の天井構造に適した固定材料は、各地域の専門店でお求め下さい。粗悪な材料の使用や誤った方法による取り付けまたは本説明書の内容に従わずに起こった過失や問題については、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

付属の2つの振動防止板と六角安全ネジを(図6)の位置にゆるくとめます(まだ締めないで下さい)。それからシーリングビジュアライザーを閉じた状態に戻します(図7)。安全ロックを引いて反時計回りに回してください。

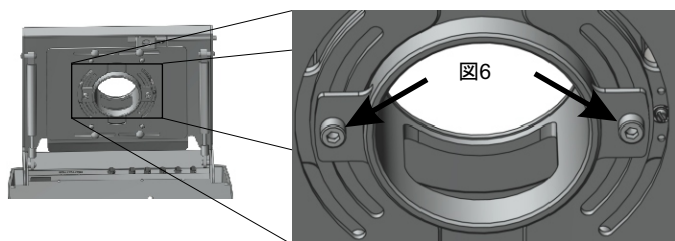
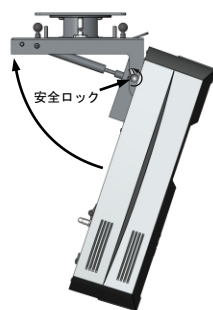


図7



ビジュアライザーをご希望の位置に動かし(図8)、位置が決まったら再度ビジュアライザーを引いて(図9)落下や移動を防ぐために六角安全ネジを強く締めます(図10)。

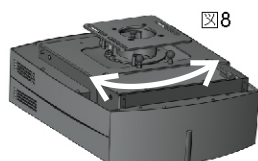


図8



図9

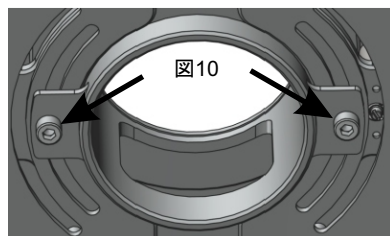


図10

取り付け金具の穴に必要なケーブルをすべて通してから接続します(図11)。

ビジュアライザーを閉じた状態に戻します(図12)。安全ロックを引いて反時計回りに回してください。

この時、必ず完全に閉じたか否か確認して下さい。完全に閉まる際に「カチッ」と音がします(図13)。

図11

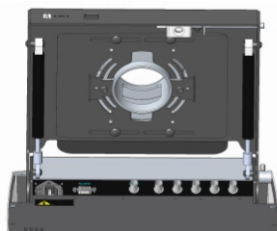


図12

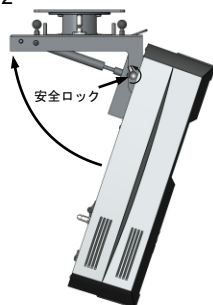
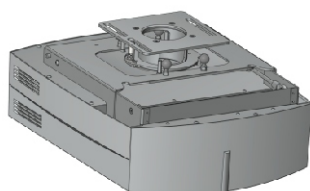
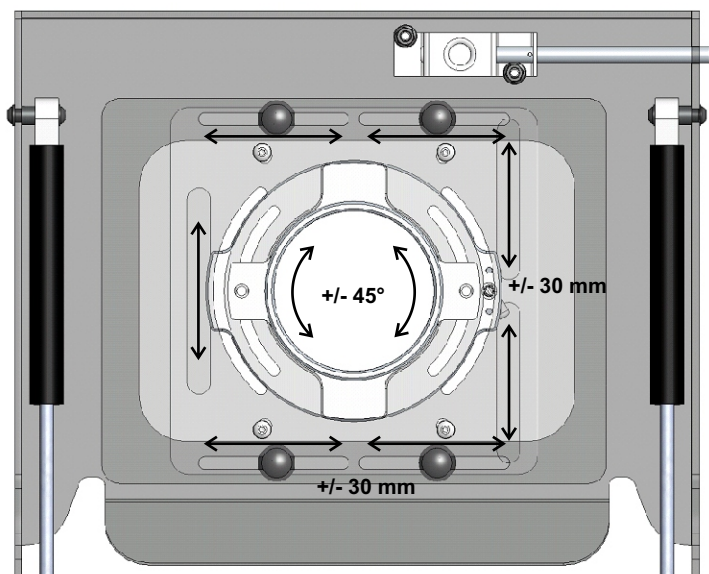


図13



必要があれば、ビジュアライザーは再調節できます。
六角安全ネジをゆるめると、本体は左あるいは右に 45 度回転します (調節後は必ず六角安全ネジを締めなおして下さい)。また、天井取り付け金具のネジをゆるめると、本体は前後に $\pm 30\text{mm}$ 動かすことができます (調節後は必ず天井取り付け金具のネジを締めなおして下さい)。
さらに 4 つのロックボルトをゆるめれば、ビジュアライザーは右あるいは左に動かせます (繰り返しますが、調節後は必ずロックボルトを締めなおして下さい)。



外部取り付け用天井金具の設置

被写体をさらに拡大するために、付属の天井取り付け金具よりも天井から離して吊り下げたい場合は、一般のプロジェクター用取り付け金具やリフトも使用できます。その際、ビジュアライザーの重量やネジの大きさに適したアダプタープレートが必要になるかもしれません。

製品および専用金具を固定するために適した天井は、構造や状況によって異なります。本体の落下を防ぐため、天井の構造が最低 80 kg の重量に耐えられるかどうか確認してください。

重 要： 日本国内の学校・会議室に関する安全規定には特にご注意下さい



重要： 本体の落下や損害・人身事故を未然に防ぐために、すべての部品の取り付けや接続の固定の安全性を確認して下さい。

給排気装置の内部にビジュアライザーを設置する場合

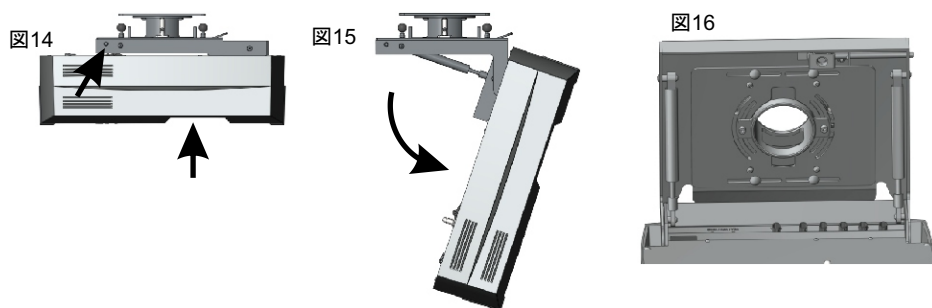
シーリングビジュアライザーを ± 45 度回転可能な給排気装置の中に設置することも出来ます。その場合は取り付け用のプレートを給排気装置の中央位置に設置する必要があります。

中央ではない位置に取り付けると、給排気装置はビジュアライザーの水平・垂直方向の動きを制限するので、設置後にビジュアライザーを回転したり下方向に開いたりすることができない恐れがあります。P7とP8に記述されている指示通りに設置してください。

シーリングビジュアライザーの取りはずし

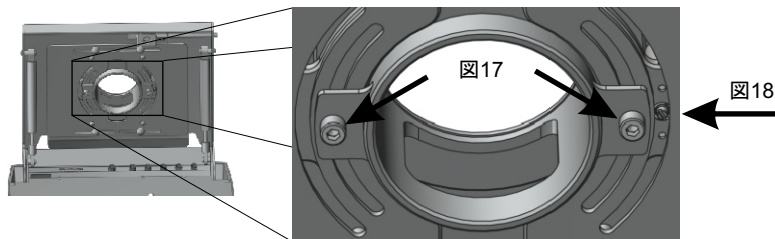
シーリングビジュアライザーを取りはずして再配置したり、保守点検サービスを行う場合は、下記の指示に従ってください。

本体の電源を切ってリリースボタンを押します (図14)。
ビジュアライザーを下方向に開いた状態にします (図15)。
接続されたすべてのケーブルを抜いて、天井取り付け金具の間から取り除きます (図16)。
すべてのケーブルを完全に抜いたら天井取り付け金具ははずします。



すべての六角安全ネジははずします (図17)。
マイナスドライバーを使ってセーフティーバーを上押しあげ (図18)、60度回してセンターの位置にします (レバーがへこみ部分に移動します)。

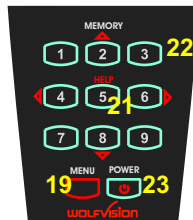
シーリングビジュアライザーは、以下のような手順以外では取りはずせません。



続いてビジュアライザーを天井に向かって閉じた状態に戻し、固定します。ビジュアライザーを90度回転させると取りはずすことができます。この時、本体の重さ13kgが負荷としてかかりますので注意して下さい。再びビジュアライザーを設置する際、セーフティーレバーは自動的に移動して本体が落下するのを防ぎます。

ビジュアライザーの操作

1. 電源ケーブルを本体 (#28) に接続し、もう一方をコンセントにつなぎます。
(すべてのケーブルは天井取り付け金具を通すことによって隠れます)。
2. コントロールモニターに接続する場合は、Preview RGBHV 出力 (#32) を使用してください。
3. 主要のモニターやプロジェクターをビジュアライザーの出力に接続します。
正しい出力の選択については取扱説明書をご参照下さい。
4. 主電源スイッチ (#26) を "I" に入れます (電源 LED が点灯します)。
5. 赤外線リモートコントロールの POWERキー (#23) を押して電源を入れて下さい。



工場出荷後初めて電源を入れると、高さ調節 Height Adjustment メニューが自動的に作動します。シーリングビジュアライザーは、あらかじめ2 mの高さに設定されています。ほとんどの場合、実際の設置高さは異なりますので以下の調整を行ってください:

1. カメラおよびライトのフォーカス設定
2. ライトフィールドをカメラの撮影範囲に合わせて調整

ビジュアライザーと作業台の高さが変わらない限り、設定を変更する必要はありません。

高さ調整 (オンスクリーンメニューを使用)



画面上にビジュアライザーのオンスクリーンメニューがあらわれます (初回電源投入時)。この画面上の指示にしたがって自動高さ調整 "Auto Height Adjustment" を行うことをお勧めします。周辺の照明環境が原因で本体が自動で調節できない場合は、手動で高さを調節してください:

"Step 1: ライトフィールドを中央に置く (英語表示: "Center the Lightfield")

ライトフィールドがカメラの画像のだいたい中央にくるように位置させます。
矢印キー (MEMORY 2/4/6/8) (#27) を使ってより正確に中央に動かします。
MEMORY 5 キー (#21) を押して設定を保存して下さい。

"Step 2: カメラフォーカスの調整 (英語表示: "Adjust Camera Focus")

画像が鮮明になるまで FOCUS キー (#17) で調整します。
MEMORY 5 key (#21) を押して設定を保存して下さい。

"Step 3: ライトフォーカス調整 (英語表示: "Adjust Light Focus")

ワーキングプレート上のライトフィールドの輪郭が鮮明になるまで FOCUS キー (#17) で調整します。
MEMORY 5 キー (#21) を押して再度設定を保存して下さい。

"Step 4: ライトフィールドを中央位置に (英語表示: "Center light field")

矢印キー (Memory 2/4/6/8) を使ってライトフィールドを中央に動かします。
中央位置になったら MEMORY 5 キー (#21) を押して設定を終了し、高さ調節モードを解除して下さい。

"Step 5: 調整をやり直す? (英語表示: "Redo Adjustment?")

設定がうまくいったら MEMORY 5 キー (#21) を押して設定を確認し、高さ調整機能を完了します。
設定が正しくない場合は、MENU キーを押して設定からいったん中止します。本体の電源を再投入すると高さ調整メニューが自動的に作動し、すべての設定が確認されるまで作動し続けます。

この高さ調節の手順はいつでも繰り返し行えます。MENU キー (#19) を 1 秒間押して矢印キー (MEMORY 2/8) で Height Adjustment を選択し、矢印キー (MEMORY 4/6) を使って高さ調節に入ります。再び矢印キー (MEMORY 4/6) で "Height Adjustment Protect" を "OFF" に変えてから "Start Height Adjustment" を開始して Steps 1-4 を繰り返して下さい。



◆ 便利メモ（お買い上げ時にご記入下さい） ◆

お買い上げ 年 月 日		品 番	
		製造番号	
お買い上げ の販売店名	TEL () FAX ()		

※お問い合わせの際には必ず品番と製造番号をご用意下さい。

連絡先:

日本国内:

株式会社ヴォルフビジョン

〒164-0003 東京都中野区東中野 2-1-6 ニッショウ東中野ビル2F

Tel. 03-3360-3231, Fax: 03-3360-3236, E-mail: wolfvision.japan@wolfvision.com

ホームページ: www.wolfvision.co.jp

製造元 / 本社:

WolfVision GmbH, Vlb. Wirtschaftspark, A-6840 Götzis / AUSTRIA,

Tel. ++43-5523-52250, Fax. ++43-5523-52249, E-Mail: wolfvision@wolfvision.com